



イヌマキ [犬模]

5本の樹

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 マキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い、雌雄異株

暑さや潮風に強いことから、沿海の生垣や庭園の仕立て物として利用されてきた。雌雄異株で種子は雌株の果床(花托)の上につく。この果床は秋に赤く熟すると甘くなり食べられるが、味はどことなく松脂の匂いがする。関東地方南部以西に自生する寒さが苦手な暖地の樹。



Memo

仕立物として、旧家の門冠(もんかぶり)に利用された。今では、需要が少なくなり生産も減った。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期					■ (観賞には向かない)							
果	実									■			
紅	葉												
施	肥		■										
剪	定					■				■			

好みの環境					
日当り	陽	○	○	◎	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強			○	弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						○

ポイント

萌芽力があり、刈り込みができ、潮風に強いことから、海岸地方では生垣や仕立物に利用される。風にも強く、防風林にもなる。仕立物は和風のイメージが強いが、生垣は和洋の区別なく利用できる。

剪定

よく萌芽し枝を伸ばすので、2回/年ほど剪定する。刈り込むと切断部が黄色くなり見苦しい。放任すると樹形が乱れやすい。剪定の適期は5月と、9~10月。寒さに弱いため、暖かい時期がよい。

病虫害

新芽にアブラムシがつきやすい。九州ではキオビエダシャク(シャクガ科)の幼虫がイヌマキとラカンマキの葉を食害し、ケブカトラカミキリの幼虫が樹皮の内部を食害する被害が増えている。

呼べる鳥



[メジロ](#)・[アカハラ](#)・[オナガ](#)・[クロツグミ](#)
[ジョウビタキ](#)・[シメ](#)・[シジュウカラ](#)